



三井海洋開発株式会社
2019年12月期
決算説明会

2020年2月6日



事業の概況

外部環境と今後の見通し

決算概要



2019年12月期：事業の概況

- 3基のFPSOを受注。受注環境は良好
- 主に建造工事の進捗等により売上高は3,326億円
- 上場来初の純損失
 - メキシコ向けFPSOの建造工事において受注工事損失引当金を計上
 - MV14に対する処理費用を特別損失として計上
- 配当予想
 - 2019年12月期：1株当たり45円00銭（予定）
- ESGに関する基本方針を制定

2019年12月期：新規受注案件



- 3基のFPSOを受注

FPSO Almirante Barroso MV32

顧客	Petrobras
契約形態	EPCI + Time Charter (21年)
鉦区	Búzios Field(ブラジル)
水深	1,900m
原油生産量	150,000 bopd
ガス生産量	212 mmscfd
貯油能力	1,400,000 bbls

FPSO Barossa

顧客	ConocoPhillips
契約形態	EPCI
鉦区	Barossa Field (オーストラリア)
水深	260m
原油生産量	-
ガス生産量	600 mmscfd
貯油能力	-

FPSO Anita Garibaldi MV33

顧客	Petrobras
契約形態	EPCI + Time Charter (25年)
鉦区	Marlim Field (ブラジル)
水深	670m
原油生産量	80,000 bopd
ガス生産量	248 mmscfd
貯油能力	1,000,000 bbls

2019年12月期：建造工事の状況

	FPSO Carioca MV30	FPSO Guanabara MV31	FPSO MIAMTE MV34	FPSO Almirante Barroso MV32	FPSO Anita Garibaldi MV33	FPSO Barossa
顧客	Petrobras	Petrobras	Eni Mexico	Petrobras	Petrobras	ConocoPhillips
契約形態	EPCI + Time Charter (21 年)	EPCI + Time Charter (22 年)	EPCI + Time Charter (15年+1年毎x5の延長オプション)	EPCI + Time Charter (21 年)	EPCI + Time Charter (25 年)	EPCI
引渡し (予定)	2020年	2021年	2021年	2022年	2022年	2023年
鉱区	Sépia	Mero	Area 1 Block	Búzios	Marlim	Barossa
所在地	ブラジル	ブラジル	メキシコ	ブラジル	ブラジル	オーストラリア
水深	2,200 m	2,100 m	32 m	1,900 m	670 m	260 m
貯油能力 生産量	1,400,000 bbls 180,000 bopd 212 mmscfd	1,400,000 bbls 180,000 bopd 424 mmscfd	900,000 bbls 90,000 bopd 75 mmscfd	1,400,000 bbls 150,000 bopd 212 mmscfd	1,000,000 bbls 80,000 bopd 248 mmscfd	NA 600 mmscfd
進捗状況					2019年 第4四半期受注	2019年 第4四半期受注

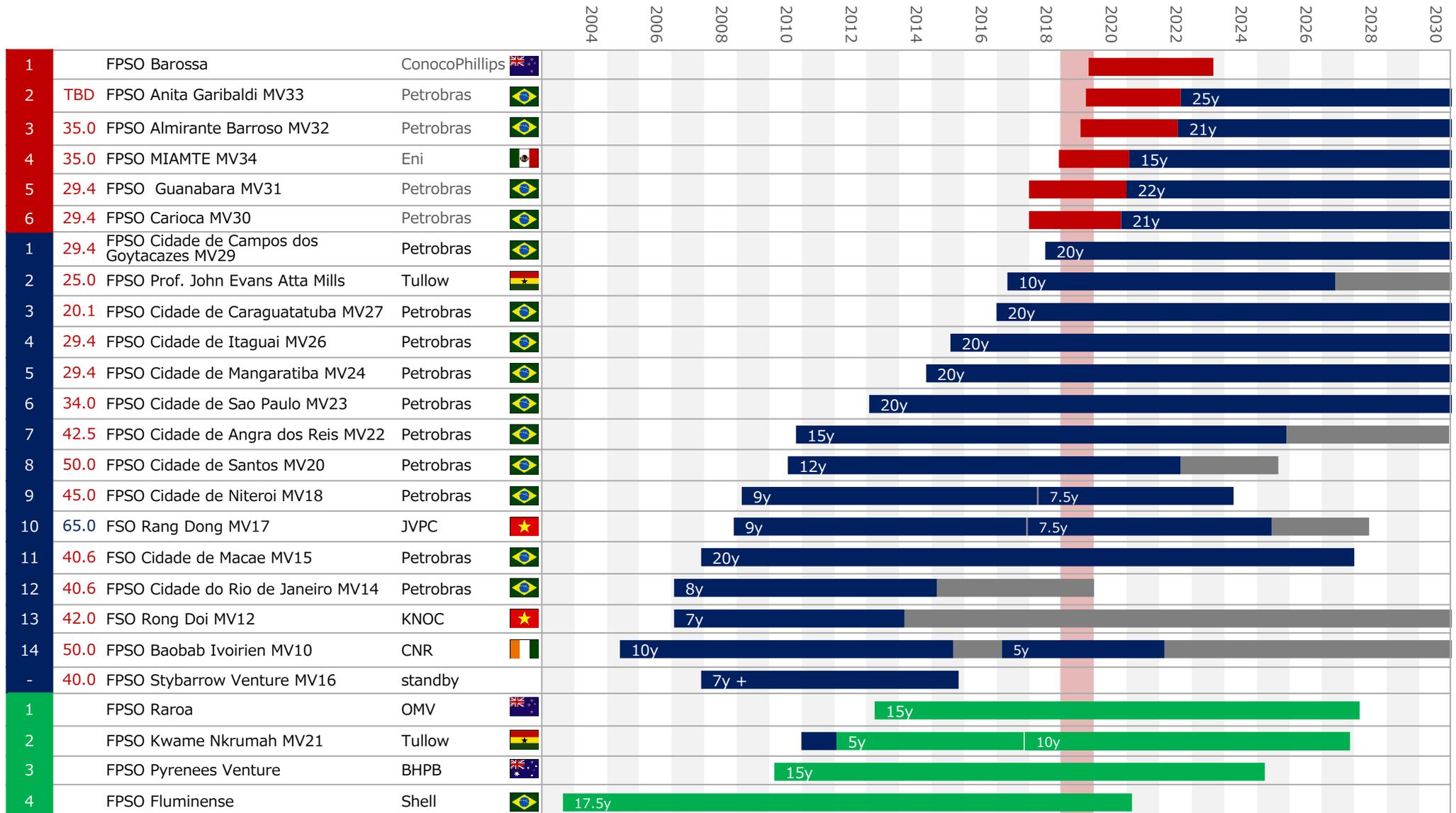
2019年12月期：メキシコ向けFPSOの建造工事について

- 建造工事の状況
 - 入札時以降に判明した条件の変更及び下請け会社の工期延長により建造工事費用が増加。受注工事損失引当金を計上
 - 第4四半期以降は沈静化。2021年完成予定
- リスク管理の強化
 - Cold Eye Reviewによるプロジェクトの問題点の把握と是正
 - 新規案件における再発防止：リスクマネジメントチームの強化

EPC(I)、チャーター、オペレーション期間

2019年12月現在

- EPC(I) 期間
- チャーター期間 (確定)
- チャーター期間 (オプション)
- オペレーション期間



当社グループ保有 (%)
 持分法適用関連会社
 連結子会社

2019年12月期:ブラジルO&Mの状況

- Cidade do Rio de Janeiro MV14における修繕損失
 - 撤去作業において船体外部に亀裂を発見
 - ブラジル国外のスクラップヤードへ曳航のために、ブラジル国内の造船所で亀裂の修繕及び残渣物/付着物の除去作業中
 - 修繕費用等約170億円を第4四半期に特別損失として計上
 - 2020年第1四半期中に修繕対応を終えスクラップ先へ曳航予定
- その他ブラジルO&Mの状況
 - 操業期間の長いFPSO/ FSOに対する特別プロジェクトを実施予定

2019年12月期:中期経営計画の進捗

Asset Integrityの進化

MODEC NOAH



M350



- 次世代FPSO用新造船体を開発
- 顧客の求めるトップサイドの大型化や耐用年数の長期化といった要求に対応

Digitalization の推進



- Advanced Analyticsを用いた異常検知システムを9隻のFPSOへ導入
- 設計や建造工程においてもデータ活用を推進

事業の概況

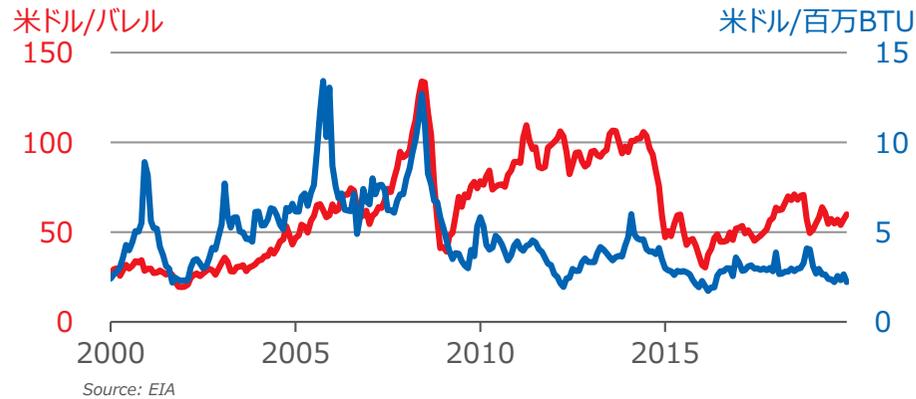
外部環境と今後の見通し

決算概要

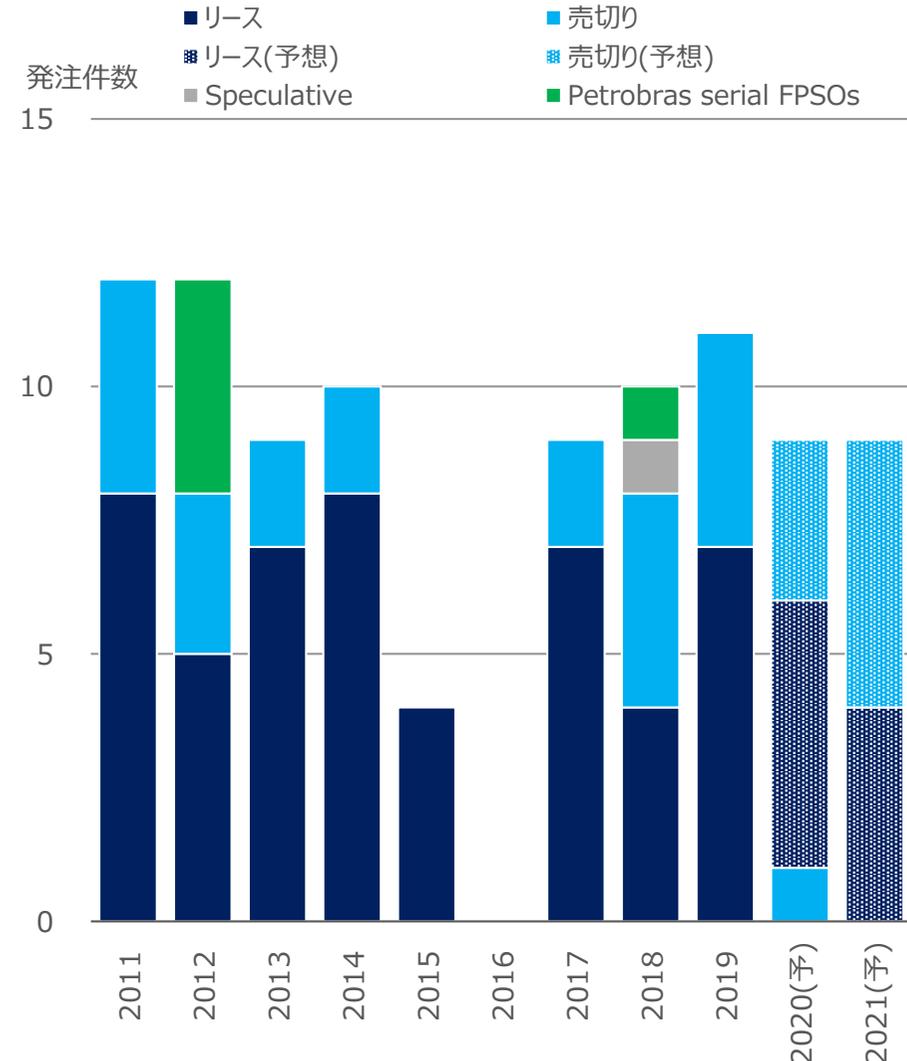


マーケット・ビュー

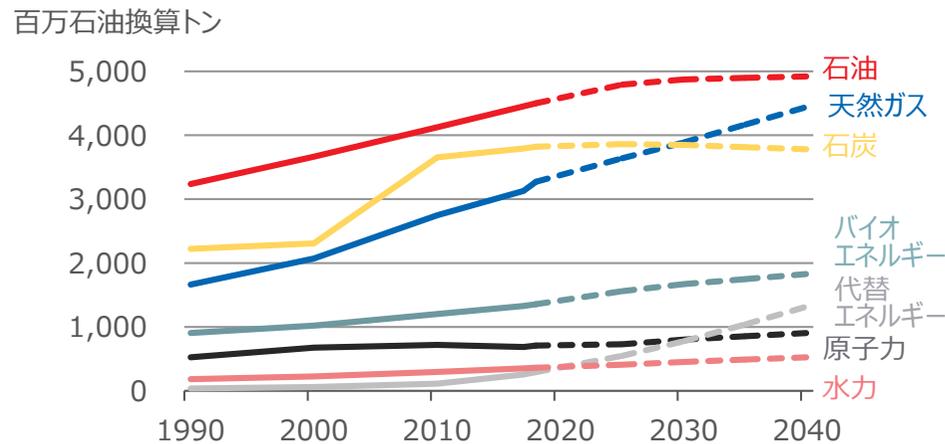
原油・天然ガス価格 (WTI/Henry Hub)



FPSOの発注件数(実績+予想)



エネルギー需要構成



Source: World Energy Outlook 2012 & 2019 - Stated Policies Scenario (IEA)

Source: Fearnley Offshore partially adjusted by MODEC.



事業の概況

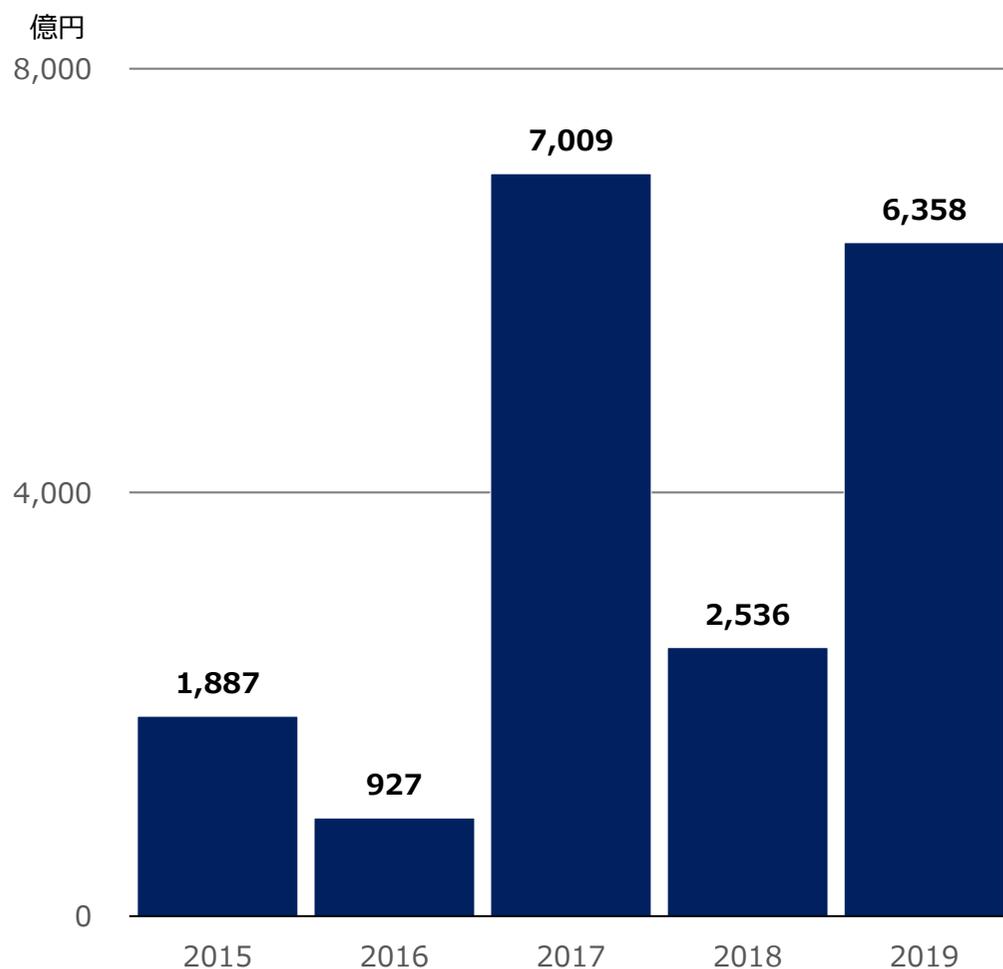
外部環境と今後の見通し

決算概要

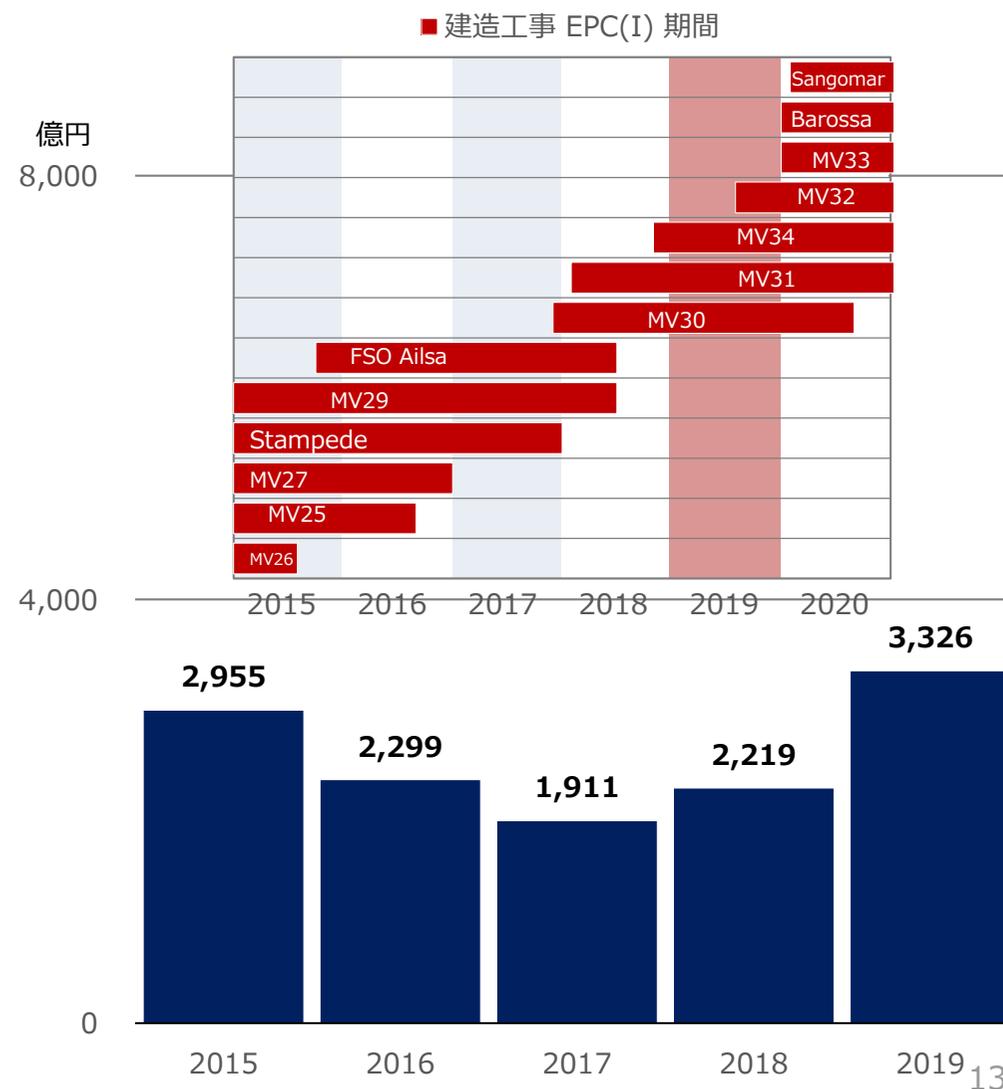
A decorative horizontal bar with a blue-to-red gradient, positioned below the text.

受注高・売上高

受注高

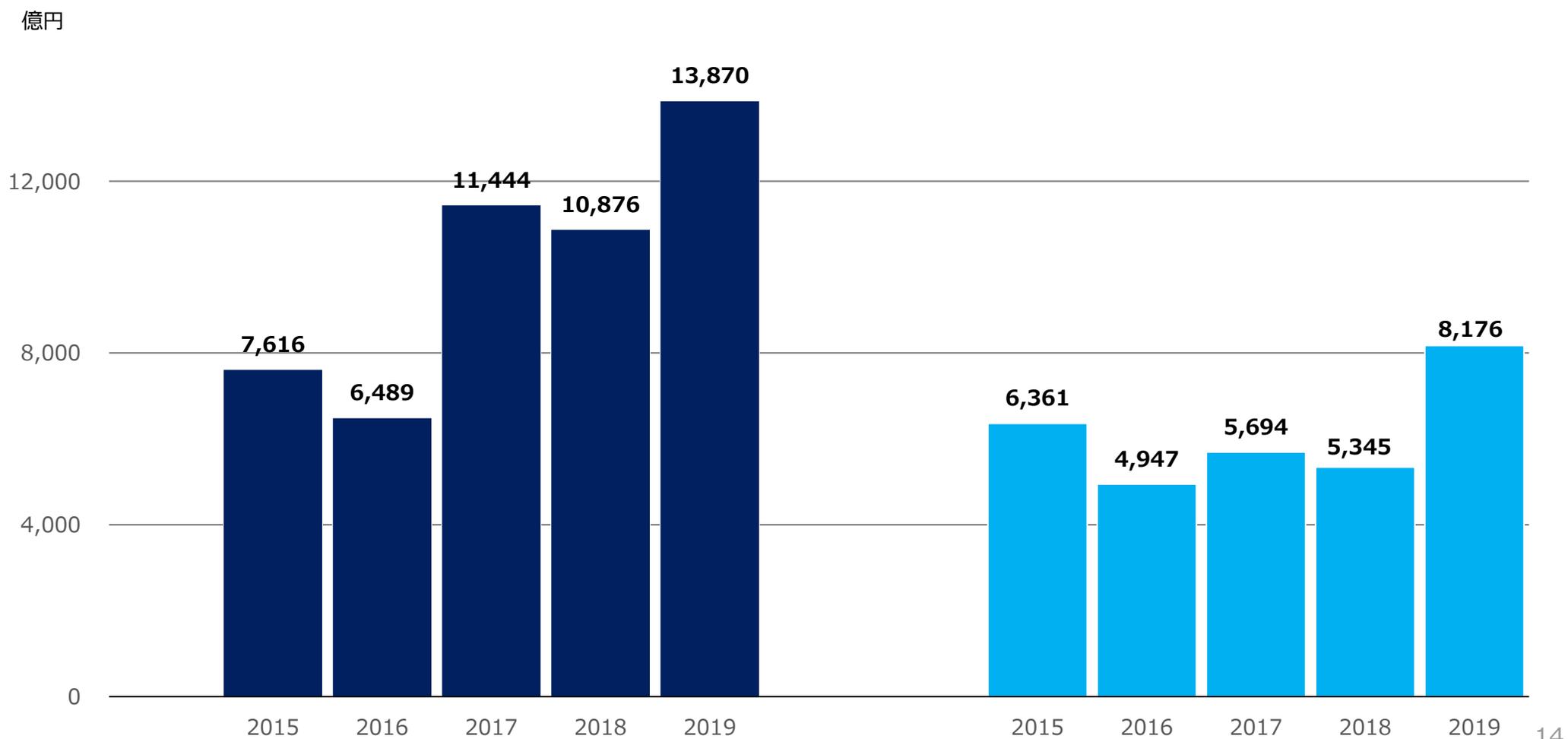


売上高

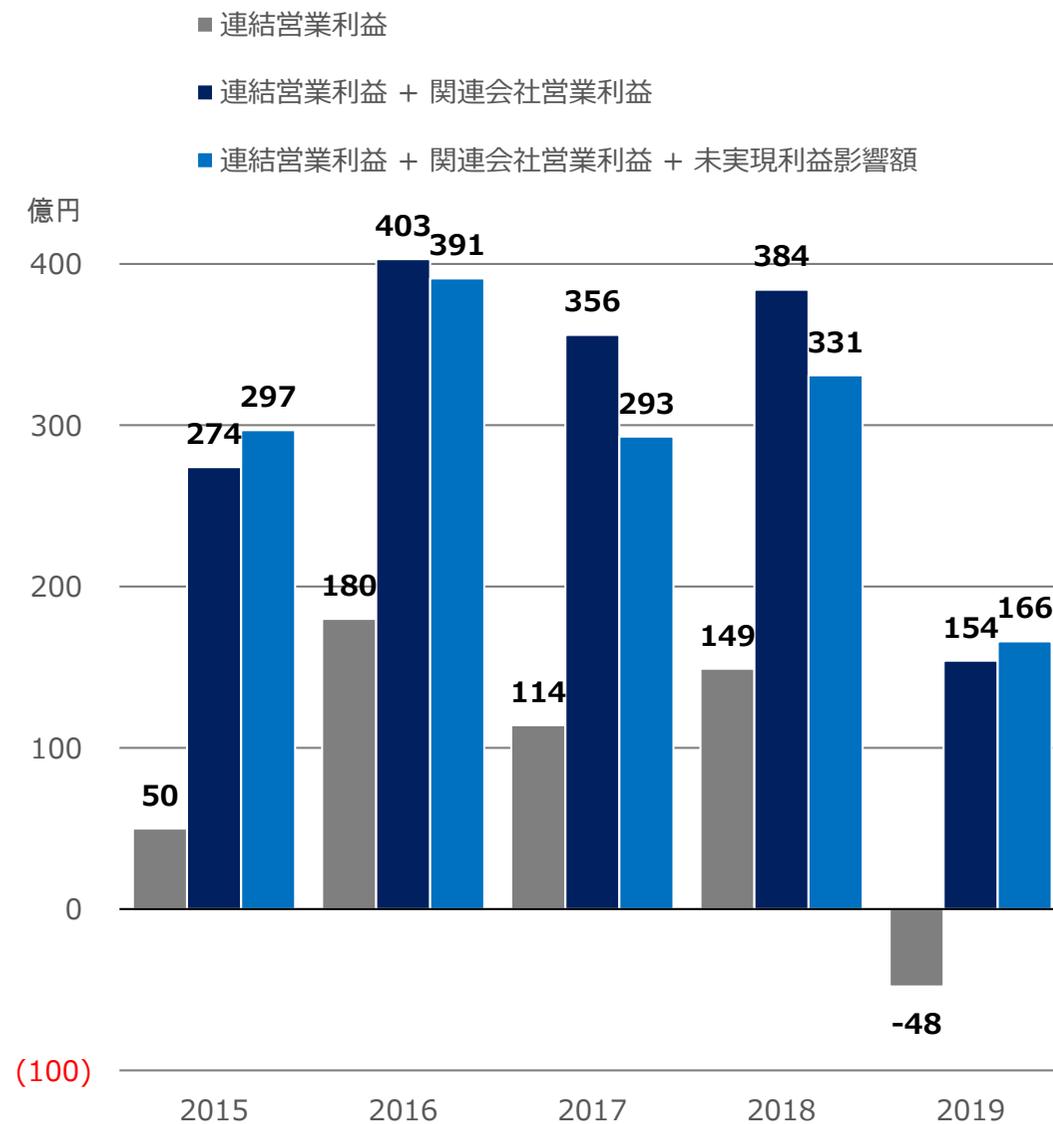
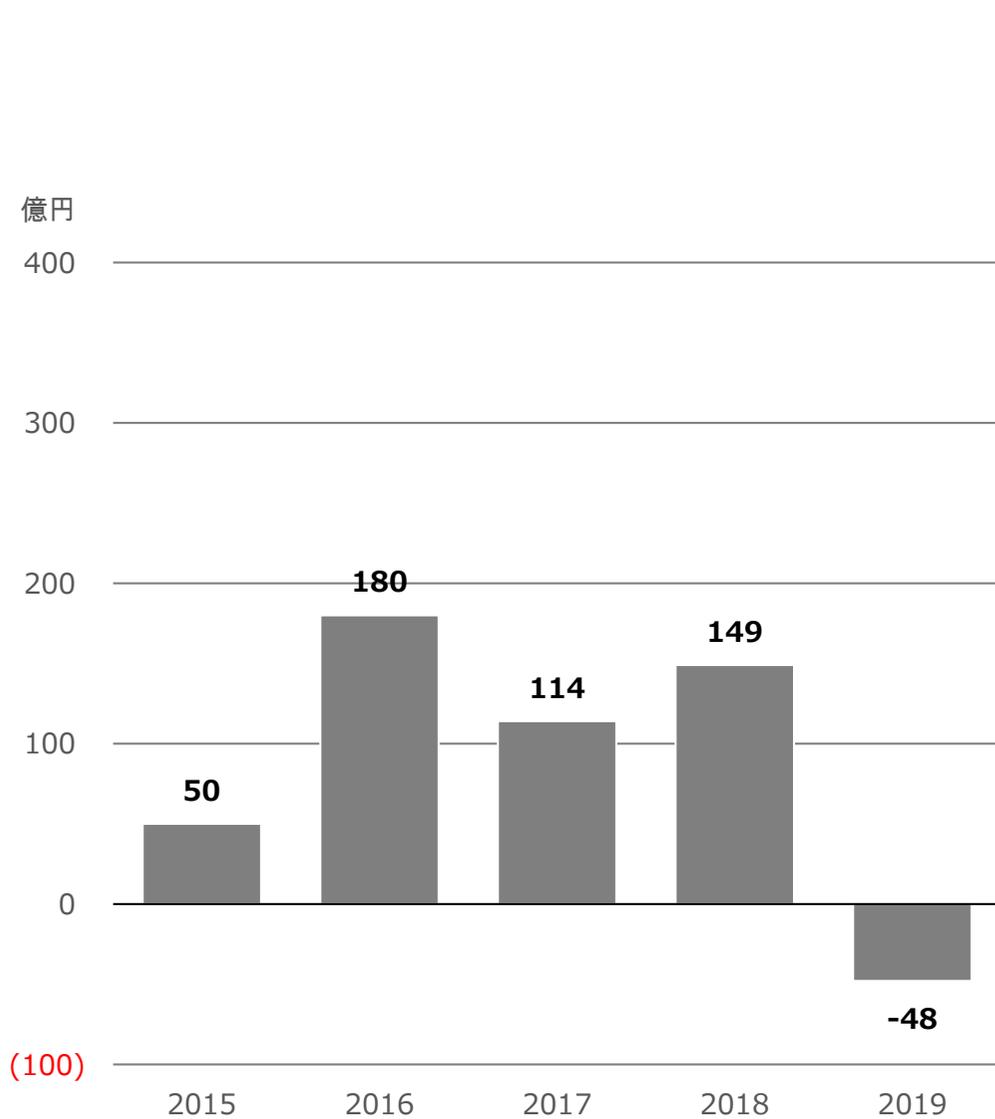


受注残高

■ 持分法適用関連会社の「リース、チャーター及びオペレーション」に関する当社持分相当の受注残高

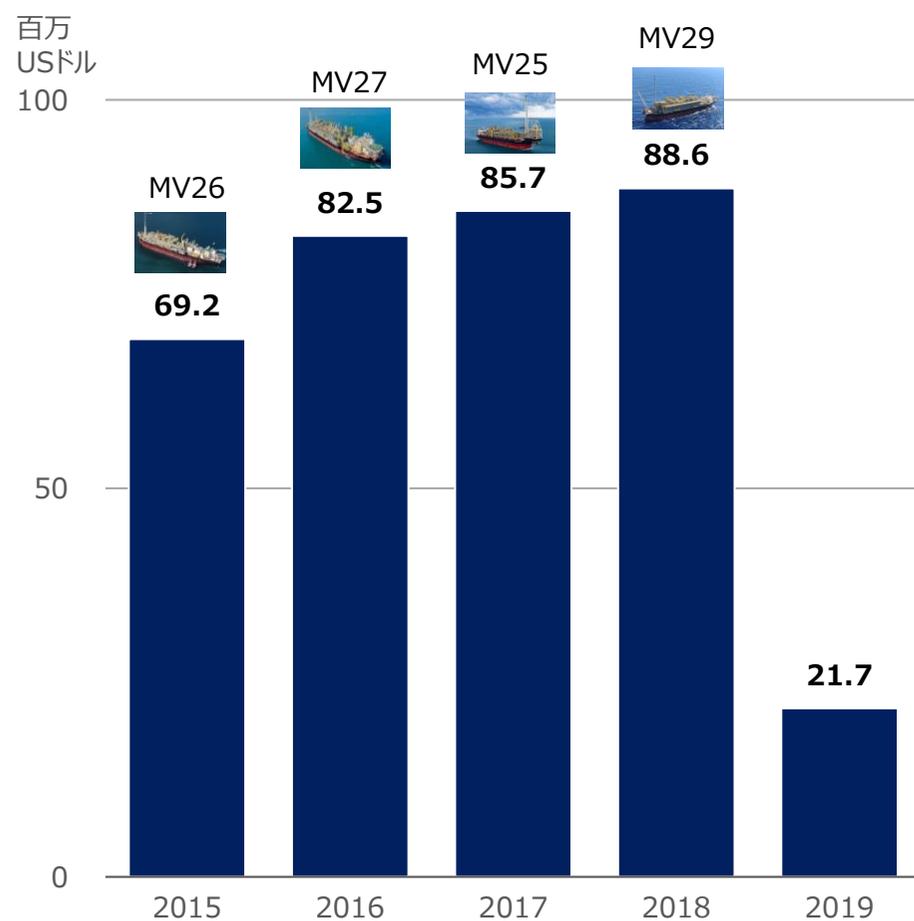


営業利益

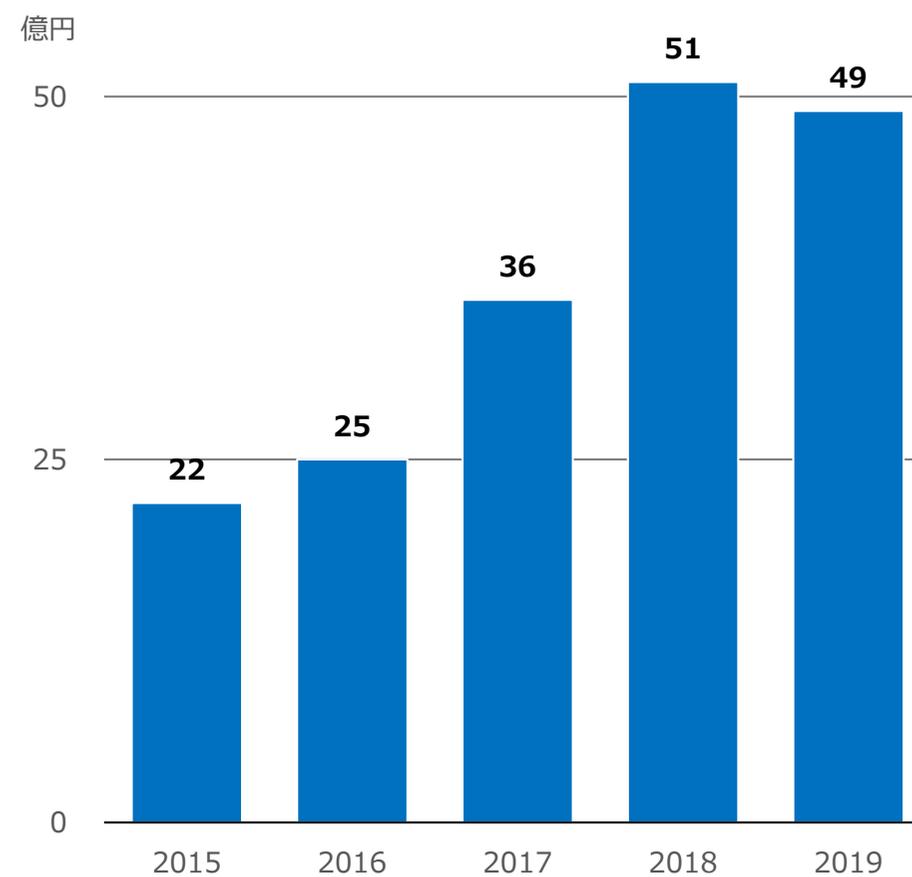


営業外損益

持分法投資利益



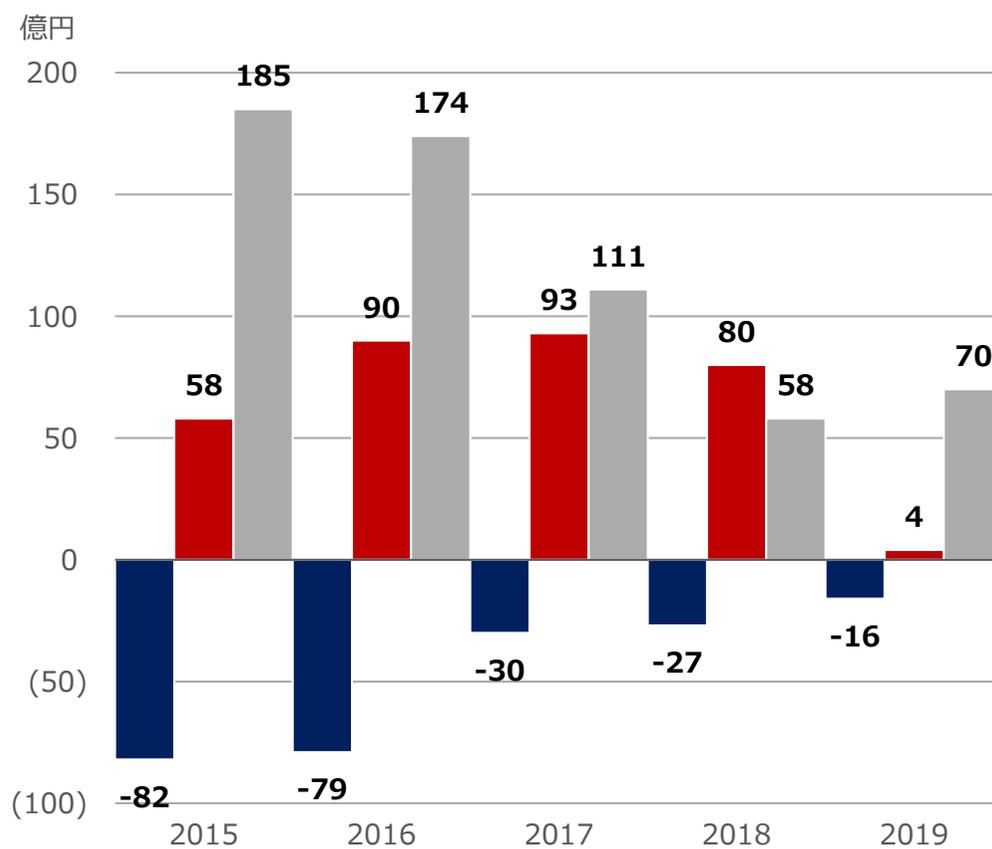
ネット受取利息



経常利益

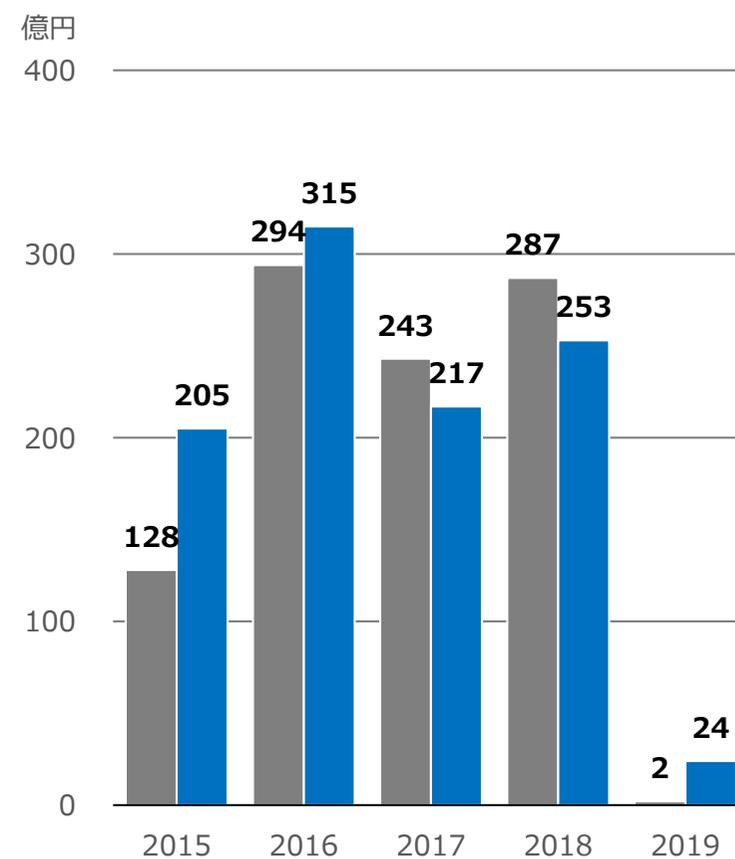
未実現損益の影響

■ 未実現損益の消去額 ■ 未実現損益の実現額 ■ 未実現損益の残高



経常利益（関連会社合算ベース）

■ 連結経常利益
■ 連結経常利益 + 関連会社経常利益 + 未実現利益影響額



損益計算書

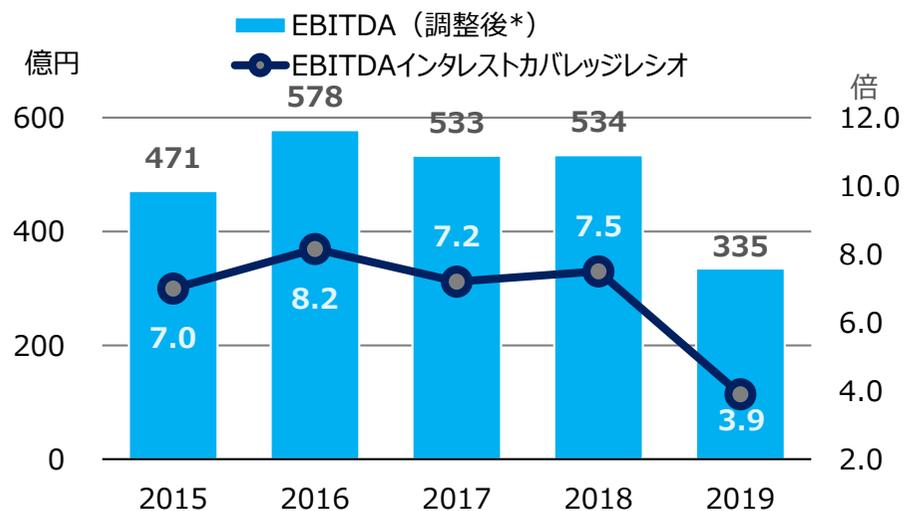
	2018	2019	増減	百万円
売上高	221,909	332,644	110,735	● FPSO建造工事の進捗により増加
売上総利益	26,557	7,495	(19,062)	● 前年同期にはMV29の未実現利益の実現益とAvailability Feeを計上したのに対し、今年度はメキシコ向けFPSOプロジェクトの追加費用を引当てたことなどから前年比で減益
販売費及び一般管理費	11,628	12,336	708	
営業利益	14,928	(4,841)	(19,769)	
営業外収益 (A)	16,291	8,393	(7,898)	
営業外費用 (B)	2,440	3,257	817	
営業外損益合計 (C = A - B)	13,851	5,136	(8,715)	
(Cのうち、持分法による投資利益)	9,841	2,382	(7,459)	● 持分法による投資利益は、金利スワップ解約精算金等のコストの増加と会計処理の変更による影響で前年比で減少
(Cのうち、為替差額)	(1,274)	(1,965)	(691)	
経常利益	28,779	294	(28,485)	
特別利益	-	837	837	● リースを終えたFPSOの売却益及び会社清算益を計上
特別損失	-	(16,690)	(16,690)	● MV14に対する処理費用を特別損失として計上
税金等調整前当期純利益	28,779	(15,558)	(44,337)	
親会社株主に帰属する当期純利益	21,891	(18,227)	(40,118)	
為替レート (USD)	¥111.02	¥109.54	(¥1.48)	

貸借対照表

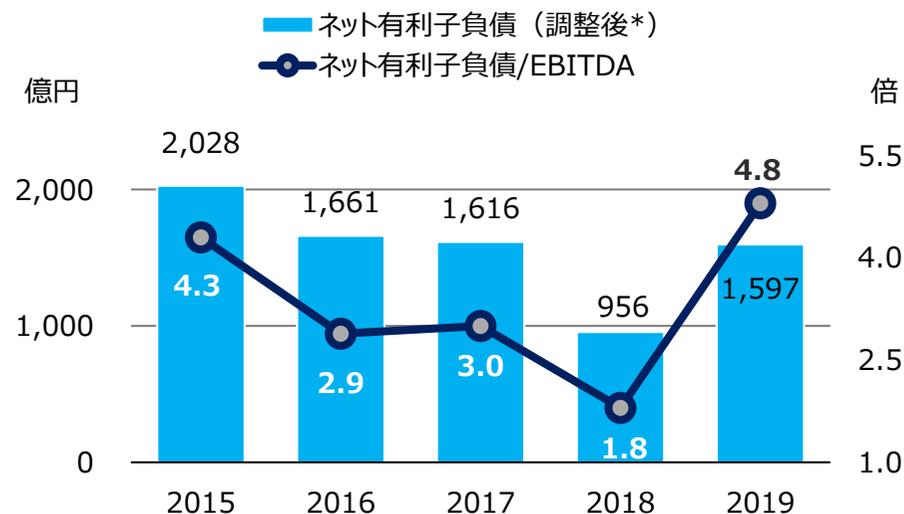
	2018	2019	増減	百万円
現金及び預金	51,215	52,381	1,166	
売掛金	95,065	163,364	68,299	● 建造工事の進捗に伴い増加
短期貸付金	43,021	8,387	-34,634	● SPC向けの建造工事資金貸付の回収により減少
流動資産合計	211,584	247,512	35,928	
有形固定資産	2,543	5,048	2,505	
無形固定資産	9,260	9,652	392	
投資その他の資産	119,840	120,976	1,136	
固定資産合計	131,644	135,677	4,033	
資産合計	343,229	383,189	39,960	
	2018	2019	増減	
買掛金	97,680	150,847	53,167	● 建造工事の進捗に伴い増加
1年内返済予定の長期借入金	6,142	13,931	7,789	
工事損失引当金	-	7,146	7,146	● メキシコ向けFPSOプロジェクトに対する追加費用を引当金として計上
修繕引当金	5	10,573	10,568	● MV14に対する処理費用を修繕引当金として計上
流動負債合計	144,060	231,860	87,800	
長期借入金	24,889	10,827	-14,062	● 長期借入金は約定返済により減少
固定負債合計	34,353	25,962	-8,391	
負債合計	178,414	257,823	79,409	
利益剰余金	93,571	71,950	-21,621	● 当期純損失及び配当支払による減少
株主資本合計	154,446	131,185	-23,261	
その他の包括利益累計額合計	-1,781	-9,394	-7,613	● 繰延ヘッジ損益及び為替換算調整勘定の変動による減少
非支配株主持分	12,148	3,575	-8,573	
純資産合計	164,814	125,366	-39,448	
負債純資産合計	343,229	383,189	39,960	

財務指標の推移

EBITDA



有利子負債



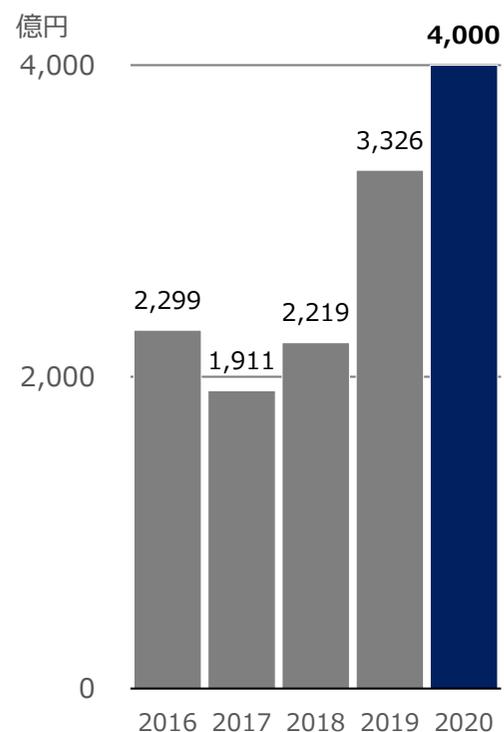
自己資本比率



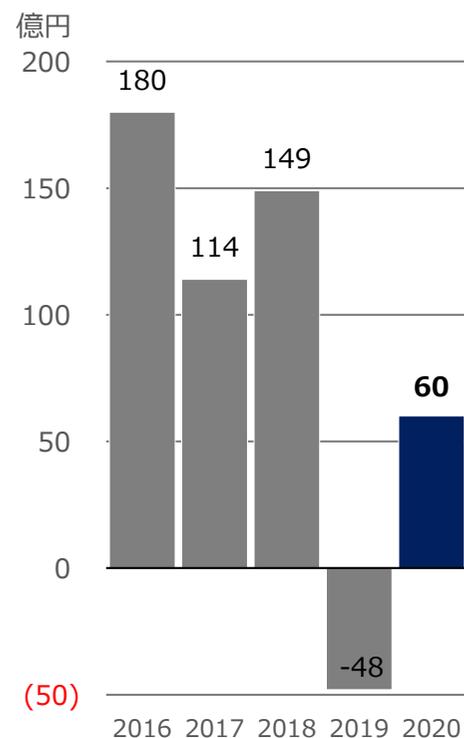
*調整: 含む持分法適用関連会社当社出資比率相当額

2020年12月期：業績予想

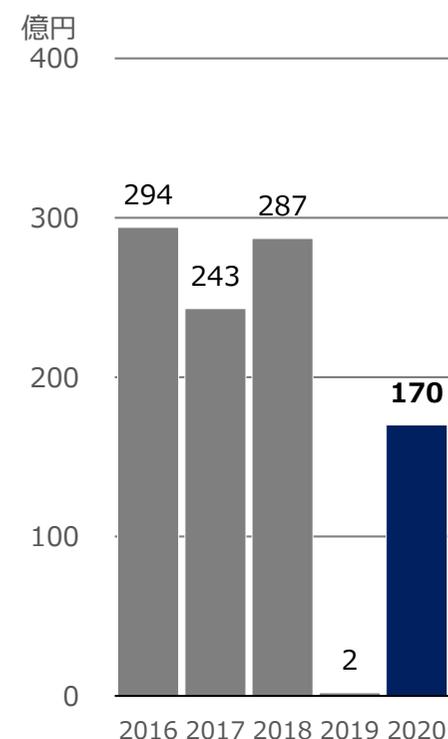
売上高



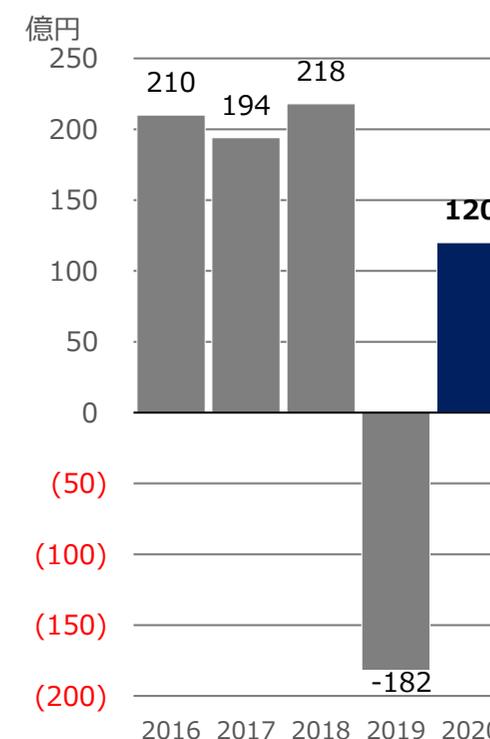
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



- 建造工事の増加等により、売上は4,000億円と過去最高を見込む
- ブラジルで操業中のFPSOの特別修繕活動により、営業利益は60億円に止まる



MODEC

